

1. 建物概要

建物名称	(株) スズケン静岡東部事業所新築工事	BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
------	---------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2 / 5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 / 5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.1 / 5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0 / 5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)

評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
-------	----------------	-----------------	-------------------

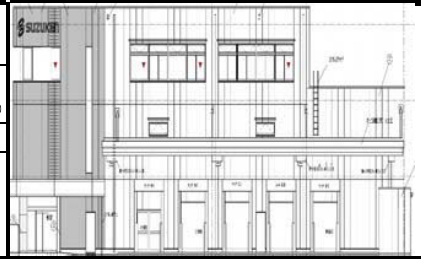
3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>①耐用年数が高い内装仕上げ材を使用している。 ②耐用年数が高い給排水配管を使用している。</p>	<p>Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔</p>	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし。</p>	<p>Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上</p>	
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>③外皮性能が高い。 ④BEIm=0.73</p>	<p>LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制</p>	
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑤鉄骨造で事務室にはOAフロア使用している。 ⑥ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している。</p>	<p>LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒</p>	
<p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑦フサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。</p>	<p>LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善</p>	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>特になし。</p>	<p>Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備</p>	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.1	
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑧階高は3.8m。</p>	<p>Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ</p>	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>特になし。</p>	<p>Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上</p>	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上)</p> <p>特になし。</p>	<p>Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出 2 ㉒ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ㉓ 敷地内温熱環境の向上</p>	
<p>■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善)</p> <p>特になし。</p>	<p>LR-3 2 2.2 ㉔ 温熱環境悪化の改善</p>	

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)スズケン静岡東部事業所新築	階数	地上3F
建設地	静岡県駿東郡清水町卸団地314番3	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年7月1日
敷地面積	3,841㎡	作成者	西川学
建築面積	1,255㎡	確認日	2019年7月10日
延床面積	3,384㎡	確認者	松田一男



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
「CASBEE静岡2016年版による評価結果」。 耐用年数高い材料を使用し、ライフサイクルコストを低減している。また断熱性能が高いため省エネルギー性が高い。	特になし。	
Q1 室内環境 内装材はすべてF☆☆☆☆を使用している。または大きな開口が設置されている。	Q2 サービス性能 事務室の天井高は2.7m以上、階高は3.8m。また、耐用年数が高い内装仕上げ材、給排水配管を使用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 外皮性能が高い。	LR2 資源・マテリアル S造で事務室にはOAフロア使用している。また、ODP=0かつGWPが低い発泡剤)を用いた断熱材等を使用している。	LR3 敷地外環境 フサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された